

教員公募要項 香川大学工学部

1. 学 科 名	2. 専門分野・職務内容	3. 募集人員
知能機械システム 工学科	人間支援ロボティクス分野における教育・研究 公募(B)	准教授、講師、もしくは助教 1名 (助教は任期5年(再任1回可))

4. 応募資格：博士又はPh. Dの学位を有し（助教の場合には着任までに取得できること）、人間支援ロボティクス分野において職種にふさわしい研究業績を有すること。特に、マンマシンインターフェイス等の人間工学技術を基盤として、医療・福祉分野等の新しい応用分野を切り開ける方が望ましい。人間支援ロボティクス分野にかかわる授業科目（例えば、工業力学、機械力学、機械設計、人間科学、ロボット工学、メカトロニクス演習、知能機械実験・実習等）及び全学共通科目が担当可能であること。機械工学、電気・電子工学の何れかの教育を修めたもので、当該分野の研究を積極的に推進する意欲を持ち、学生の教育にも熱意を持って取り組むことができること。
5. 採用予定年月日：平成25年4月1日（月）
6. 提出書類：履歴書、研究業績リスト、主要論文の別刷（コピー可）及びその概要、教育・研究・社会貢献活動報告書、本学部における教育研究の抱負等、応募者について問合せ可能な方のリスト(提出書類の記入要領は別紙のとおり)
※研究業績リストは別紙3、教育・研究・社会貢献活動報告書は別紙4に準じて記載してください。
7. 応募期限：平成24年10月19日(金)（必着）
8. 送付先：〒761-0396 高松市林町2217番地20
香川大学工学部長 増田 拓朗
(「知能機械システム工学科 公募(B) 教員応募書類在中」と朱書のうえ、書留にて送付ください)
9. 問合せ先：高松市林町2217番地20 香川大学工学部庶務係
TEL：087-864-2008
FAX：087-864-2032
E-mail：shomu@eng.kagawa-u.ac.jp
または、知能機械システム工学科 学科長 下川房男
TEL:087-864-2340 E-mail:simokawa@eng.kagawa-u.ac.jp
10. ホームページ：香川大学工学部 http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/
11. 選考方法：第1次選考・・・書類審査
第2次選考・・・面接と模擬授業（第1次選考通過者対象）
11月17日（土）に実施予定。詳細は対象者に連絡します。
※第2次選考のための旅費は自己負担となります。
12. その他：香川大学は男女共同参画を積極的に推進しており、業績等（研究業績、教育業績、社会的貢献ほか）及び人物の評価において同等と認められた場合には女性を採用します。

教員応募提出書類記入要領

①履歴書

市販のもの、自作のものいずれでも結構です。必ず写真を貼付し、押印して下さい。
内容は住所、氏名、生年月日、連絡先、学歴（高等学校卒業以降の全て、入学卒業年月を記載すること）、職歴（非常勤講師を含む）等の他に所属学会もご記入下さい。

②研究業績リスト

著書、学術論文、国際会議プロシーディングス、登録特許など、研究業績について、別紙3の様式に準じて記載してください。

③主要論文の別刷及びその概要

研究業績リストに記載の主要な論文（5編以内）について、その内容をそれぞれ400字以内で簡潔に説明し、併せてその別刷を添付して下さい。

④教育・研究・社会貢献活動報告書（A4版用紙5枚以内）

教育活動、研究活動、社会貢献活動について、別紙4の様式に準じて記載してください。

⑤本学部における教育研究の抱負等（A4判用紙2枚以内）

香川大学工学部における教育研究の抱負、応募する専門分野及び職種等についての抱負を記述して下さい。

⑥応募者について問合せ可能な方のリスト

応募する職位に応じて、下記の人数を挙げてください。

- ・教授・准教授・講師に応募する場合は、国内外の著名な研究者等から、国内2名、国外1名、計3名以上。
- ・助教に応募する場合は、国内の著名な研究者等から（国内外を問わない）、計2名以上。

研究業績リスト

- ・ I. 著書, II. 学術論文 (査読付き), III. 国際会議プロシーディング (査読付き), IV. 登録特許, V. 学術論文 (査読なし), VI. 学会発表 (査読なし), VII. その他 (報告書・作品等) に分けて, 項目別に通し番号をつけて記載してください。該当する業績がない項目は記載しないでください。
- ・ 著者名, 執筆者名の欄, 応募者本人の氏名に下線を付してください。
- ・ 頁下段中央に頁数を付してください。

氏名 ○○○○

I. 著書

1. 著者名 : ○○○○ (単著)
著書名 : ○○○○○, 全300頁
出版社名 : ○○出版, ××××年
2. 著者名 : ○○○○ (分担執筆, 共著者 (又は監修, 編集者) : △△△△)
著書名 : ○○○○○, 全350頁 (担当箇所 : 第○章, 50~100頁)
出版社名 : ○○出版, ××××年

II. 学術論文 (査読付き)

1. 執筆者名 : ○○○○, △△△△, □□□□
論文題目 : ○○○○○
掲載誌名 : ○○学会論文集, 巻(号), pp.100-108, ××××年

III. 国際会議プロシーディングス (査読付き)

1. 執筆者名 : ○○○○, △△△△, □□□□
論文題目 : ○○○○○
掲載誌名 : Proceedings of ○○○○, pp.100-108, 2012 (採択率 : ○○%)
※CD版で掲載頁番号が不明の場合は, 当該研究の頁数 (○頁) を記入してください。

IV. 特許登録 (登録された特許についてのみ記載してください。)

1. 発明者名 : △△△△, ○○○○, □□□□
発明の名称 : ○○○○○
特許番号 : 特許第××××号, (登録年月日 : ××××年××月××日)

V. 学術論文 (査読なし) (上記のIIと同じ体裁で記載してください。)

VI. 学会発表 (査読なし) (上記のIIIと同じ体裁で記載してください。)

VII. その他 (報告書, 作品等を適宜, 記載してください。)

教育・研究・社会貢献活動報告書

I. 教育活動、II. 研究活動、III. 社会貢献活動、IV. 自己評価・自己アピールについて、それぞれ以下のような事項について記載してください。（A4版用紙5枚以内）

I. 教育活動

- ・主な教育活動歴（大学における授業担当、学協会等における講習会の講師等も含む。）
- ・受賞歴（教育活動に関する受賞歴）
- ・教科書の執筆、教材の開発等
- ・その他、教育活動に関する業績

II. 研究活動

- ・受賞歴（研究活動に関する受賞歴。全受賞者氏名、表彰名称、表彰業績名、表彰主催団体名、表彰年月日を明記してください。）
- ・学会やシンポジウム等における招待講演（本人の講演に限ります）。
- ・科学研究費補助金や財団の助成金など、これまでに獲得した競争的研究資金（研究費の種類、研究テーマ、研究費を受けた期間と研究費の金額を記載してください）。

III. 社会貢献活動

- ・学会、シンポジウム、研究会などの組織・運営や役職など。
- ・国及び地方公共団体等の審議会、委員会等の委員（委員名称、期間）。
- ・学協会、市民団体等への貢献活動

IV. 自己評価・自己アピール

これまでのご自身の教育・研究・社会貢献活動に関する自己評価・自己アピールを自由に記載してください。